

図書館報

SEINAN GAKUIN
UNIVERSITY
LIBRARY BULLETIN
2006.May No.160



新入生歓迎号

- | | | | |
|-----|---|---|--|
| 1 | 図書館は翼 図書館事務次長 篠崎 珣
新入生の皆さんへ 図書館長 後藤 新治 | 5 | レポート・論文作成方法
司書 谷元 ゆきえ
法学研究科 法律学専攻博士後期課程 荒津 史佳 |
| 2-3 | 図書館利用ガイド | 6 | 使ってみようシリーズ(4)
新しく利用できるようになったデータベース
図書情報課 古庄 敬文 |
| 4 | 図書館と私
文学部 外国語学科 助教授 ロランス シュヴァリエ
国際文化学部 国際文化学科 助教授 松原 知生 | 7 | 蔵書ギャラリー no.1 国際文化学部 国際文化学科 教授 後藤 新治 |

SEINAN
GAKUIN UNIVERSITY

welcome!

新入生歓迎号



図書館エントランスホールにおける
ピナリー・サンピタック(タイの現代女性アーティスト)の展覧会

図書館は翼(つばさ)

シェークスピアは「知識は人が天に飛翔する翼である」(「ヘンリー6世」より)と言いました。これは大学に置き換えてみると、「図書館は学生が社会人となって天に飛翔する翼」と読みかえることができるのではないのでしょうか。つまりみなさんがこれから飛翔できるかどうかは、図書館で蓄えた知識の量による、そう勝手に定義して、今後の利用に期待をしたいと思います。

大学図書館の世界は図書の利用を中心とした形態から、パソコンなどを使った情報検索、情報収集の時代、他大学図書館との協力関係の強化へと完全に移行しました。みなさんが大きな翼を広げ、大空をかけめぐるために、図書館職員・ライブラリアンは惜しみない支援をお約束します。

図書館事務次長 篠崎 珣

新入生の皆さんへ



図書館長
後藤 新治

桜も終わり新緑の季節を迎えましたが、新入生の皆さん、あらためてご入学おめでとうございます。

90分の講義に慣れ、大学構内の配置も頭に入り、そろそろ夏休みを利用した研究や旅行の計画を立てているひともいるのではないのでしょうか。西新キャンパスで唯一「広場」と呼べる図書館前の空間は、いつも学生さんたちで賑わっています。私はここの光景を眺めるのが好きです。なぜなら皆さんが、教室で見せる顔とは違い、生き生きと語り、楽しそうに笑い、真剣に見つめ合っているからです。ところで大学図書館の印象はいかがでしたか。

たしかに書庫には約100万件の書籍やデータが蓄えられていますが、図書館は巨大な本の倉庫ではありません。なるほど館内には約900の座席が設けられていますが、図書館は本を読むと

ころでもありません。一度に5冊の本が15日間借りられますが、もちろん図書館は無料「貸本屋」(ほとんど死語か)とも異なります。では図書館とはいったい何なのでしょう。

私の考えでは、図書館とはキャンパス中でもっとも安全かつ極私的な「避難場所」です。難問にぶつかった時、友人と気まずい思いで別れた時、こっそりと喜びをかみしめたい時、私はいつも数冊の本を抱えて図書館に「逃げ込んで」いたのを思い出します。試験の前などはとくにそうでした。

新入生の皆さん、図書館の中に密かに自分だけの「指定席」を見つけて下さい。わからない時はプロの図書館員に尋ねるのも一つの手です。このプライベートな空間の発見が豊かな学生生活を送るための鍵であることを忘れないで下さい。(国際文化学部教授)

図書館利用ガイド

図書の貸出・返却



【貸出手続】

貸出希望の図書と学生証を1階貸出カウンターに提出してください。貸出図書には[返却期限票]がついています。この欄に押印されている日付までに必ず1階返却カウンターに返却してください。

【貸し出しできない資料】

禁帯出図書(辞書・参考図書・就職関係問題集)
指定図書・選定図書(英米文学・英米文化)・新聞・雑誌・AV資料

【返却手続】

返却期限票に押印されている日付までに必ず1階返却カウンターに返却してください。
* 返却期限日を過ぎて返却した場合は、1冊1日につき10円の延滞金を徴収します。

便利な施設



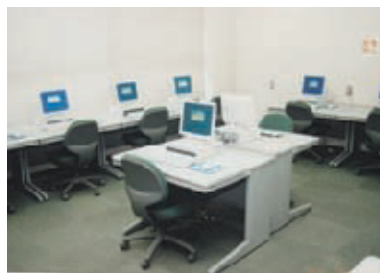
【AVコーナー】

DVD・ビデオテープ(VHS)・CD・カセットテープなどが視聴できます。利用方法は、[AVコーナー・情報端末利用票]に記入し、学生証と一緒に1階カウンターに提出してください。
* 持ち込みの場合は、図書館が適当と認めたものに限りです。

【学術情報検索室】

CD-ROM・有料データベース・インターネットの検索専用室ですが、図書・雑誌などの参考資料を持ち込んでの総合的な研究にも利用できます。

* CD-ROMは、学生証と引き換えに1階カウンターで貸し出します。



【グループ学習閲覧室】

クラス・ゼミ等で図書館資料を活用しながら学習や研究を行なうための部屋です。ゼミや授業等の定期的な使用はできません。[利用許可願]を利用希望日の前日までに1階カウンターに提出してください。



図書館DATA

開館時間

授業期間中

[平 日] 9:00～22:00
[土曜日] 10:00～20:00

試験期間中

[平 日] 9:00～22:00
[土曜日] 10:00～21:00

春季冬季休暇中

[平 日] 9:00～19:00
[土曜日] 9:00～19:00

夏季休暇中

[平 日] 10:00～20:00
[土曜日] 10:00～20:00

休館日

- ◎日曜日
- ◎国民の祝日
- ◎クリスマス
(12月25日)
- ◎学院創立記念日
(5月15日)
- ◎年末年始
(12月28日～1月5日)
- ◎その他、特に定める日

貸出日数と期間

学部学生

通 常	5冊	15日間
長期休暇	5冊	所定期間
教育実習用	5冊	45日間
卒業論文用	5冊	30日間

大学院生

通 常	20冊	60日間
教育実習用	5冊	45日間
論文用	5冊	60日間

交換留学生

通 常	5冊	15日間
長期休暇	10冊	所定期間

国際機関資料室

国連寄託図書館

国連の会議資料や議事録、決議などが国連本部より送付されてきます。平和維持や人権などの資料のほかにも各種統計資料が充実しています。

EU資料センター(EDC)

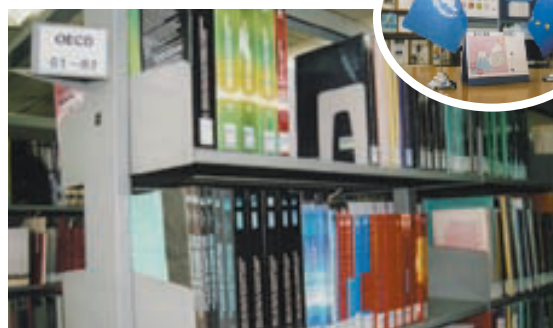
EUの活動についての資料だけでなく、EU各機関からの出版物が送付されてきています。近年は資料の電子化が進み、EUのサイト(<http://europa.eu>)で法令や決議・指令など各種資料を見ることもできます。

OECD協力資料館

OECDが刊行している資料を受け入れています。Source OECD(<http://new.sourceoecd.org/>)を利用すると、WEB上で資料を見ることができます。

国際協力プラザコーナー

ODAやNGOをはじめとした国際協力に関する資料が揃っています。閲覧カウンター前と国際機関資料室に配布資料を置いていますので、ご自由にお取りください。



SAINSルーム

図書館3階に自習用パソコンが80台設置されており、情報処理センター(1号館5階)でパスワード設定の手続きを行えば利用できます。情報処理の学習だけでなく、図書館HPから図書館の目録検索をはじめとして、各種オンライン・データベースを利用した情報検索を行うことができます。

ホームページを利用しよう

<http://www.seinan-gu.ac.jp/library>



図書館のホームページでは「お知らせ」、「利用案内」、「学術ポータル」、「リンク」などの情報を提供しています。特に学術ポータルではデータベース(オンライン、CD-ROM)やオンライン・ジャーナルの紹介やテーマごとの情報検索に有効なデータベースや参考資料を紹介しています(5ページ参照)ので、ぜひ活用してください。

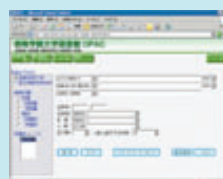
学術ポータル

テーマごとの情報検索のツールが紹介しているパスファインダーがあります。課題をはじめとした情報収集で利用してみてください。またオンライン・データベースやオンライン・ジャーナルへのアクセスがしやすくなっています。新しく利用できるようになったデータベースについては6ページで紹介しています。



OPAC(目録検索)

本学に所蔵している資料の検索だけでなく、貸出状況・履歴の確認やILLサービスの申込みもできます。





古い町のような図書館

文学部 外国語学科 助教授 ロランス シュヴァリエ

私にとって、フランスの図書館と日本の図書館は異なっていないと思う。フランスでも、西南でも、私は図書館に行く、いつもたくさん時間を無駄にしてしまう。急いでいるときも、どの本を借りたいかははっきり分かっているけど、図書館で15分だけ過ごすことは全くできない。毎回1時間以上予定しないといけない。探している本をなかなか見つけれないからではない。理由は、必要な本を探していると、となりの本棚でより面白そうな本をいつも見かけるから。ある本棚を探検していると、別の分野の本が目に入ってしまって、「ああ、これも興味深い!」と、本棚に沿って、次の棚に連れて行かれる。そんなふうに、まるで小さな路地がいっぱいあるフランスの古い町を訪れる時のように、本棚の間を歩

き続けて、角で思いがけない文学の通りに出、別の分野の交差点を渡って、辞典の大通りに沿って行き、急に昔の料理の本の広場に出る。探していた本をまだ見つけていないということに気づくまでぶらつき続ける。そんなわけで、前回図書館に行ったとき、私は日本における教育に関する本を借りたかったのに、建物を出る時、フランス語・スペイン語の二か国語の短編集2冊、文法の問題集1冊、フランス語に訳された日本の小説1冊と、探していた本のかわりに同じテーマで、もっと面白そうな本を3冊も手にしていた。やはり、「時間を無駄にする」といっても、本当は「無駄」ではなかったのだ。



ROY Adam
『Peur sur la ville』

学習者向けに易しいフランス語で書いてある短い本なので、1年生でも後期の半ばになったら読めると思います。【開架:4階 857/7/87】



図書館と私

シエナ、あるいは言葉と物の迷宮

国際文化学部 国際文化学科 助教授 松原 知生

美術史の研究を志してイタリアに留学する学生の〈聖地〉としては、フィレンツェのドイツ美術史研究所やローマのヘルツィアンナ図書館、あるいは両都市にある国立図書館などがよく知られている。だが留学中の私は、こうした大規模(かつややスノッブ)な図書館よりも、シエナにあるこぢんまりとした図書館たちを偏愛した。それは、私の専門とするシエナ美術史関連の文献が充実しているという理由もさることながら、それらがいずれも都市の歴史と深く結びついた建造物の中に設けられており、書物をひもとくことがそのまま時の建築の中へと分け入ることであるような魅惑的な体験だったからである。市立図書館は旧アカデミーに、シエナ大学文学部図書館は女子修道院の建築に、国立史料館や文化財保護局図書室はルネサンス期の邸宅

内に設けられている。それゆえ、都市とその建築にまつわる歴史について、その内部に身を置きながら研究する、つまりいわば歴史の胎内で歴史について思考することもできたのである。だが、書物と作品、あるいは言葉と物が織り成すこうした入れ子状の相互包含の関係は、シエナの町全体にあてはまるだろう。図書館で文献や史料を渉猟したその足で教会や美術館を訪れ、実作品に対峙し、もう一度図書館に戻り読書に耽る。作品について書かれた書物をまさにその作品の傍らあるいは懐の中でひもとく。私にとって、図書館のみならずシエナの町全体が、そんな合わせ鏡の中を歩くような体験を可能してくれる、言葉と物が同じ平面で緊密にもつれあった、フーコーのいう意味での「ルネサンス的」な迷宮をなしている。



ロラン・バルト
『明るい部屋
写真についての覚書』
花輪光沢、みず書房、1985年

【開架:
4階 740/1/2】



バルトの遺著であると同時に、亡き母に捧げられた追悼＝鎮魂のテキスト。写真というメディアが過去や未来、死や再生と結びつる人類学的な問題について、透明な美しい文章で綴る。

効率よく 情報を 集めよう

司書

谷元 ゆきえ



課題が出たら 「パスファインダー」でアタリをつける！

パスファインダーをご存知ですか。パスファインダーとは、あるテーマに関する情報を探す際の手順や資料(Webサイトも含む)を簡単にまとめたものです。レポートやゼミの課題で知りたいテーマの概要を把握したり、テーマの絞込みをしたりする際に役立ててください。パスファインダーは3ページで紹介している図書館ホームページの「学術ポータル」のページにもあります。例えば環境問題に関する課題が出た場合…「環境」のパスファインダーには環境省をはじめ関係機関のWebサイトへのリンクや、環境に関する事典の紹介などがあります。環境問題という大テーマの中にはどんな小テーマがあるのか、最近注目を集めているのはどんな問題なのか、自分はその中のどれに関心があるのか、などの手がかりになるはずです。他にも「法令」「教育」「金融」など様々なパスファインダーがありますので利用してください。

課題が出たら、まずパスファインダーでアタリをつけてから参考文献探し！効率よく集めた情報を元に、じっくり考えたレポート・論文を作成しましょう。

おすすめ
ツール

**図書館ホームページ→学術ポータル
→情報検索について**



パスファインダーのコーナーでは、情報の絞り込み方の例や、情報検索を行う上で知っていると役立つ事柄も紹介しています。パスファインダーを初めて使うときや、情報検索をしていて迷った時にも参考にしてください。

図書館 活用方法の ご紹介

法学研究科

法律学専攻博士後期課程

荒津 史佳

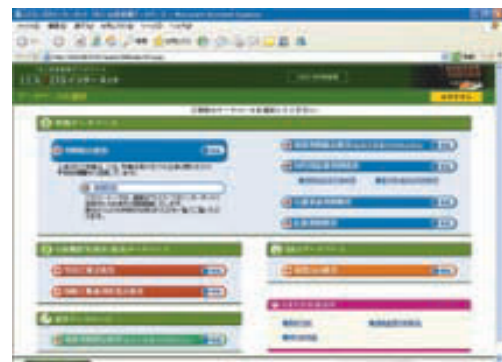


情報の宝庫である 図書館をもっともっと活用しよう

私が論文作成にあたり、まず活用したのは法律判例文献情報(CD-ROM)のキーワード検索でした。雑誌、論文の一覧がたくさん出て来ます。私は、ひとまず、新しい法律雑誌全般と論文から読み進め、さらに、その法律雑誌、論文に掲載されている参考文献、引用文献、論文、判例、法令を集め読むという作業を繰り返しました。その情報収集の際、頻繁に活用したのは大学図書館ホームページのリンクです。このリンクには「LEX/DBインターネット」(日本の判例検索)、「CiNii」(論文検索)、「Westlaw」(米の判例・法令等の検索)等の目的に合わせて検索できる便利なデータベースがたくさんあります。また、大学図書館に置いていない書籍については複写依頼を出していました。最終的に分からないことは図書館の職員の方に相談をしました。この作業(情報収集→熟読→まとめる)を繰り返すことで、少しずつ自分の研究テーマの内容全体をつかむことができ、論文の方向性が明確になったと思います。みなさん、情報の宝庫である図書館を大いに活用しましょう。

おすすめ
ツール

**図書館ホームページ→学術ポータル
→LEX/DBインターネット**



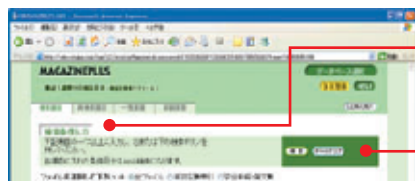
図書館ホームページからアクセスできる「LEX/DBインターネット」を開き、調べたい判例についての情報(キーワード、年月日等)を入れて検索すると、判例全文、要旨を見ることができます。

新しく利用できるようになったデータベース

4月からいろいろな分野のデータベースが利用できるようになりました。ぜひ、使ってみてください。 図書情報課 古庄 敬文

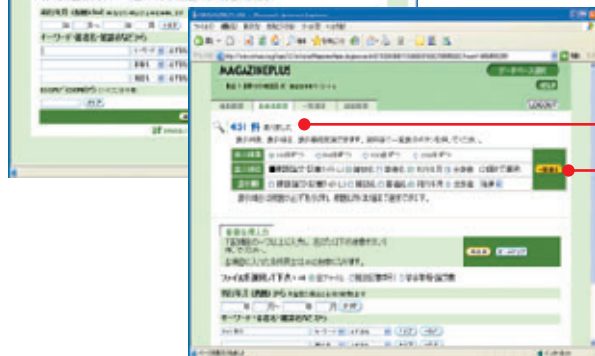
① 雑誌記事を探すのに便利な「MAGAZINEPLUS」

図書館ホームページ→学術ポータル→記事（新聞・雑誌）



調べたい単語(言葉)をキーワードに入力する。
※「ネット取引」と入れました。

検索をクリックする



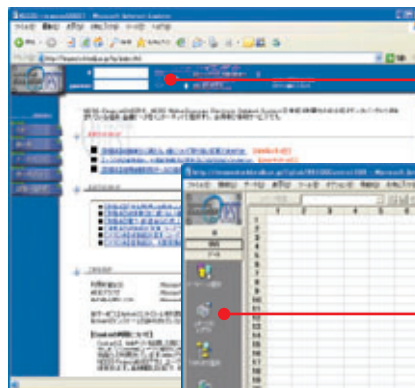
「ネット取引」を記事名に持っているのが
451件でした。

一覧表示をクリックすると記事名、雑誌名、
巻号、ページ数、発行年が表示されます。

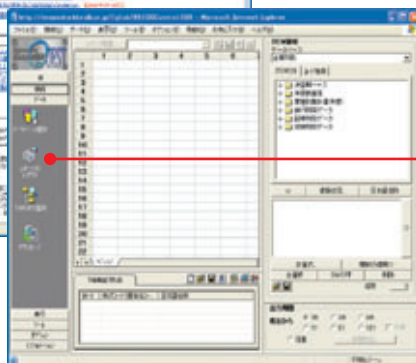
※学内ならどこからでもアクセスできます。

② 財務諸表を調べることができる「日経NEEDS-FinancialQUEST」

図書館ホームページ→学術ポータル→企業・機関・団体



IDとパスワードを入力し、loginをクリックします。
(IDとパスワードはホームページのマニュアルに掲載しています。)



データベース一覧をクリックして、欲しい
データを探します。

※図書館2階学術情報検索室で利用できます。

このほかにも、次のようなオンラインデータベースやオンラインジャーナルが利用できます。

なお、図書館のホームページではここで紹介できないものも多数ありますので、ホームページをご覧ください。

1. Encyclopedia Britannica ブリタニカ百科事典のWeb版
 2. Oxford Dictionary of National Biography Online イギリスの歴史に深く関与した人々を収録したデータベース
 3. Literature Online 35万件の文学作品を収録するデータベース
 4. MLA Bibliography 文学、言語学、民俗学関連の文献の索引データベース
- それぞれの利用方法はマニュアルを作成し、ホームページ上で見るようにしています。



『ラチェルバ』タイトル頁のタイポグラフィーの移り変わり(下から1913/1/1, 1915/1/1, 1915/5/15, 1914/8/15, 1914/1/1)



未来派詩人フランチェスコ・カンジュッロの「自由な状態にある語」のレイアウト(『ラチェルバ』1914/1/1)

LACERBA 『ラチェルバ』

(1913/1/1－1915/5/22, 1913－1914年は隔週刊、1915年から週刊、全69号、フィレンツェ)

[閉架:705/0/1-1～3]

私の学生時代1960年代末の大学構内はタテカンであふれていました。といっても大学祭前に林立するバザーの広告ではありません。黒と朱の墨色鮮やかに、反りのある肉太の略字体で書かれた「全共闘」とか「決起せよ!」といった文字が、見るものを挑発していたのです。タイポグラフィーは思想である、ということの思い知ったのはその時でした。

大学図書館蔵書を写真と解説で紹介していく「蔵書ギャラリー」第1回目は、第一次大戦直前のイタリアで刊行され、未来派と密接な関係を保ちながら、タイポグラフィーに革命をもたらしたといわれる前衛雑誌『ラチェルバ』を取り上げます。

20世紀初頭フィレンツェで執筆活動が続けていたジョヴァンニ・パピーニとアルデンゴ・ソッフィチは、フランス文化を手本にイタリアの思想と芸術の刷新を図ろうと本誌を創刊しました。一方フィリッポ・トンマーゾ・マリネッティ率いる未来派グループは、ミラノを拠点にアンチ・フランスの立場から「速度の美」ととなえて領域横断的な革新運動を展開していました。両グループは理論上の反目から実力行使を伴った闘争の後和解し、誌上において一時期「幸福な」共闘時代が訪れたのです。

それまで文字テキスト中心だった『ラチェルバ』のレイアウトは、未来派の影響で表紙のタイポグラフィーが変わり、絵画や楽譜などグラフィックな要素が本文中に割り込んできます。なかでも詩の内容をそのまま視覚的に表現した「自由な状態にある語」とよばれる未来派の詩作法は、誌面のレイアウトを一新したと言ってよいでしょう。

本誌は大戦勃発直後から、文化戦争としての参戦論を展開しますが、イタリアがオーストリアに宣戦布告した日をもって終刊しました。同時代のイギリス前衛グループ渦巻派の機関誌『ブラスト』誕生に刺激を与え、ドイツのバウハウスのエディトリアルデザインに影響を及ぼしたことを考えると、メッセージに視覚性を付与した『ラチェルバ』の戦略はきわめて今日的であったことがわかります。

(国際文化学部 国際文化学科 教授 後藤 新治)

編集後記

一年前に図書館報はカラー仕様で変身したばかりですが、今号からさらに編集方針・デザインともにリニューアルしました。表紙には本学のお宝蔵書(貴重書や珍本など)を毎号掲載して、解説とともに紹介していきます。新入生の皆さんには親しみやすく、つつい足向けたくなるような図書館の魅力を、在学生や教職員の皆さんには情報収集の場としてだけではなく、感性をより豊かにできる図書館の真価をお伝えできればと願っています。これからも編集委員一同、皆さんをサポートできるような館報をめざします。(M・M)

西南学院大学図書館報 No.160

2006(平成18)年5月25日発行

編集 館報編集委員会

発行 西南学院大学図書館

〒814-8511

福岡市早良区西新6丁目2番92号

TEL(092)823-3426